

芸術学部 デザイン工芸学科 視覚造形分野 受託研究

研究期間／令和2年12月22日～令和3年3月31日

広島広域都市圏28市町のロゴマークのデザイン

市花、町花をアイキャッチに28の市と町を彩る

【目的】

広島都市圏構想のPR等に活用するため、圏域の特性等を活かしたロゴマークを28市町分を制作する。

【研究・制作留意点】

28市町の特徴を一つで表すには市町が制定している「花」をあしらうことにより、全体の統一感を出した。

広島都市圏構想ロゴ基本パターン



カラーリング：暖色を主に使用しています。ゴールドには、魅力ある街に住む自信や高級感。オレンジには温かみや親しみやすさを連想させ、200万人広島都市圏構想が身近なものであることを表現しています。大きく占めているレッドは、情熱や活動的な強さを連想させます。
 デザイン：半円や直線が重なり合う箇所の色が多彩に変化し、200の文字を作り上げることで、各市町それぞれの個性が有りながらも共同している姿を表現しています。



納島 正弘(教授)/統括ディレクション

浮田 茉侑(協力研究員)/デザイン制作